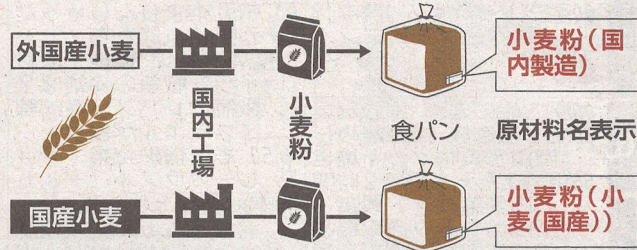


食パン「国内製造」は国産?

食パンなどの原材料名として包装に記載されている小麦粉の表示のあり方が議論になっている。「国内製造」との表記は国内での加工を意味するが、国産小麦を使っている」と誤認を招くとして、一部の消費者らが国に食品表示法の基準の改正を求めている。これに対し、国側は表記の変更ではなく、「国内製造」の意味の周知に注力する方針だ。(今泉遼)

※消費者庁などの取材に基づく

食パンの「国内製造」と「国産」の表示の違い



小麦は外国産「誤解招く」

表記改善求める声も

「数年前までずっと国内製造と書かれた食パンを国産小麦で作られていると誤解して買っていた」。山口市のコメ農家、安溪貴子さんは自身の消費行動をこう振り返った。

誤解に気づいてからは国産小麦が使われていると書かれた食パンを買うようになった。自らパンを焼くことも多く、その際には以前から国産小麦が使われた小麦粉を使っている。

こうした表示について、民主党政権で農相を務めた山田正彦弁護士がSNSなどで問題提起。賛同する全国の会社員や主婦、大学教授ら1051人は昨年10月、消費者庁に改善を求める申出書を提出した。安溪さんも名を連ねた。

農林水産省によると、2024年度の小麦の食料自給率(カロリーベース)は16%にとどまっている。安溪さんは「消費者が国産小麦で作られた食パンを正しく購入できるように、小麦の自給率向上にもつながるはず。はっきりわかりやすく表示してほしい」と願う。

山田弁護士の事務所によると、消費者庁への申出書の提出後も申出人はさらに1777人増え、今年4月に追加で同行に送った。国を相手取り、表示ルールの改善を求める訴訟を起こすことも検討している。

申し出の代理人を務めた河野壮志弁護士は「消費者の利益の増進を図るといって、製パンなどの事業者の利益が重視されているのが見て取れる。国産小麦で作られた食パンを選びたい人がきちんと選べるようにしたい」と語る。



国産小麦で作られた小麦粉でパンを焼く安溪さん(山口市で)

消費者庁がYouTubeなどで公開している動画のサムネイル。同行提供

加工食品に書いてある「原料原産地表示」ってなに?

～プリンセス、スーパーに立つ!!～

店員 CV: 平強エレン

姫 CV: 田村ゆかり

国は周知に力

消費者庁によると、食品表示法の施行規則では、一部の加工食品には原料の原産地表示の記載が義務付けられているが、小麦粉は該当しない。そのため、小麦粉が国内で製造されていることを消費者に周知することが重要だと、同庁は16年、食品メーカーや消費者団体などでつくる「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会」を10回開催し、全国各地の説明会も行った上で、17年に定めた。

「国内製造」の表記は多くの加工食品で認められている。消費者庁の担当者は「例えば、ソーセージの場合は一番多く使われた原材料が豚肉という生鮮食品なので、豚肉の産地が書かれる。一方、一番多く使われた原材料が加工食品の場合は製造地だけの表記をすることができ」と説明する。

そば粉やごま油にも

明する。記者がスーパーマーケットで確認したところ、▽そば粉▽食用なたね油▽ごま油▽マヨネーズやドレッシングの食用植物油▽ポン酢や麵つゆ、焼き肉のたれのしょうゆ▽チョココート菓子やアイスクリームの砂糖——などに「国内製造」と記載されていた。

新幹線 浸水避難訓練 熊本

本格的な出水期を前に、JR九州は12日深夜から13日未明にかけて、川の氾濫による浸水を想定した新幹線の避難訓練を熊本総合車両所(熊本市)で行った。昨年8月に九州を襲った記録的大雨では、実際に新幹線を高架上に退避させており、訓練では経験を踏まえて見直したマニュアルを活用し、手順を確認した。



避難訓練で、高架上に退避する新幹線の車両(13日、熊本市で)＝JR九州提供

両陛下、欧州へ出発

オランダ・ベルギー 海外親善4回目

天皇、皇后両陛下は13日午前、国賓としてオランダとベルギーを公式訪問する。ドネシア、英国、モンゴルに続き、天皇陛下の即位後4回目となる。

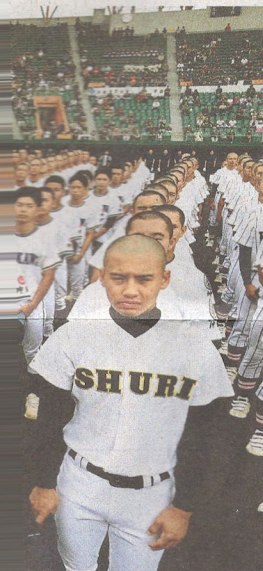
羽田空港では出発行事が行われ、秋篠宮ご夫妻や森英介衆院議長らが出席。両陛下は午前11時前、出席者に見送られ、笑顔で機内に出発される。天13日午前、羽太介撮影

天皇、皇后両陛下のオランダ、ベルギー訪問の主な日程(現地時間)

オランダ	6月13日	羽田空港発、アムステルダム着
	～16日	ヘット・アウデ・ロー城に滞在
	17日	アムステルダムで歓迎式典、戦没者記念碑に供花、国王夫妻主催の晩さん会
	18日	ハーグで上下両院議長と懇談、首相主催の昼食会、平和宮訪問
	19日	小児がんセンター訪問、在留邦人らと面会
	20日	アムステルダム発、ブリュッセル着
	～22日	シエルニオン城に滞在
	23日	ブリュッセルで歓迎行事、首相と面会、国王夫妻主催の晩さん会
	24日	南部の都市ナミュールを視察、ルーベン・カトリック大学訪問
	25日	在留邦人らと面会、ブリュッセル発
	26日	帰国
ベルギー		

は現地の在留邦人らと面会するなどし、26日に帰国される。

両陛下のオランダ訪問は2013年以来、13年ぶり。ベルギー訪問は1999年以来、27年ぶりとなる。



三浦市 撮影

球児の夏 沖繩から

は見直したマニュアルに沿って、運転士は無線のやり取りを簡易化するなどし、車両を高架上に動かした。車両所の高野利浩所長は「繰り返し訓練を実施し、いざという時に備えたい」と話していた。